

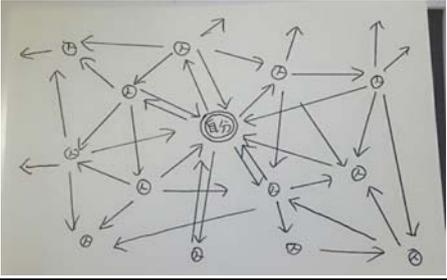
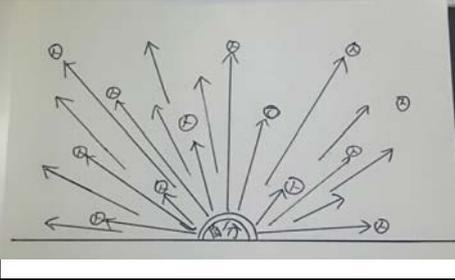
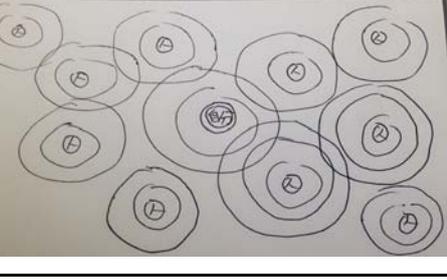
前者・後者の特徴と判別法

提唱者	略称
心屋仁之助	仁
向江好美	向
野引香里	野
水野浩志	水

カテゴリー	提唱者	前者	後者
もともとの定義	仁	大人になりたいくて、大人になれた人	大人になりたいくて、大人になれなかった子どものままの人
特徴概要	仁	空気が読め、理解、理論、表現、処理能力が比較的高い マルチタイプ	天然、癒し系、言葉をストレートに受ける 集中タイプ
判別法	仁	人の話を聞いてて、頭がシャットダウン(真っ白)になるか?	
	仁	No	Yes
	仁	めんどくさいと、理解できないと思っても「停止・フリーズ・放棄」せず頭は動き続けている	長い文章や、長い話、説明を聞いていると「混乱してきて、思考が停止・フリーズする」
	仁	<ul style="list-style-type: none"> 怒られたり失敗したり、あせったときにすぐにパニック(混乱)になる 難しい話や、まくしたてられると心の中にシャッターが下りて「しまう」 思考がすぐにどこかに飛んで行って「しまう」 この質問の例にひとつでも「イエス」があれば、後者。	
	仁	※「意識的に」シャッターを下ろすのではなく「気が付けば下りている」のが特徴 ※仕事ができる、勉強ができる、などの「できる」は判断基準に入りません。 ※前者・後者はひとりのひとにどちらもあるものではなく、「どちらか」という「絶対的」な話です。 ※前者は、ここまで読むだけで理解できます。	
判別法	水	「頭真っ白」の例 ・アウェイの場で自分がどう動けばいいかわからず苦しかったり ・キャパオーバーになると超焦ってパニックになるから「落ち着け落ち着け」が口癖だったり ・人乗せてると緊張して通勤路なのに道間違えたり ・なんでかわかんないけどこの人に嫌われてる気がする人が稀に現れたり	
	水	<ul style="list-style-type: none"> 仕事を依頼されたとき、なぜ自分がそれをやらなければいけないのか、そのつながりが理解出来れば依頼内容はすんなり頭に入ってくる。 この仕事は、全体の流れの中の、どのあたりの行程のもので、この仕事の前後にどんな連携があるのか、といった事を教えてもらえると、すんなり理解が出来る。 でも、突然、なんの前振りもなく、断片的な仕事を渡され、「これやっというて」って言われると、自分との関連性、つながりが瞬時に見えないと、理解が出来なくなり、頭真っ白な状態になる。 友達と話していても、自分にとって興味関心がもてない話になると、自分との関連性やつながりが感じられなくなり、頭真っ白。 また、興味ある話をしていても、それ以上に自分との関連性が高く、つながりを感じられるものが現れると、そちらに意識をとられてしまい、今まで話をしてきたことについては、頭真っ白になる。 ■ 自分との関連性やつながりが切れてしまうと、シャットダウン、頭真っ白状態になる	
もう一つの判別法	野	前者後者の話題が理解できる 前者後者の話が面白い	前者後者の話がよく分からない 前者後者なんてどうでもいい そもそも分ける必要ある？ 自分がどちらに属するのか分からない どちらの気質も持っているものだから行ったり来たりすればいい
役割	仁	努力しなくても比較的マルチに仕事を同時にこなすこともできる秀才タイプ	トレーニングによってそこまでなることも可能だが、基本的には何か一点に集中する天才タイプ。また、後者は「決められたこと」「決められた手順」を反復して覚えることができるので、「学校の勉強・成績」は良かったりする。
	仁	前者は後者を助け、それぞれの能力を発揮するようになっている。	後者は前者に助けられて、それぞれの能力を発揮するようになっている。ときに前者の常識の枠を壊すような能力を発揮したり、前者を癒すこともある。
視点	向	複数の視点を持っている 他人の視点に立てる 矢印の方向を変えられる力(他人の視点になれる/想像できる力)がある	常に自分の視点から見る 他人になりきって他人の視点を手に入れる

前者・後者の特徴と判別法

提唱者	略称
心屋仁之助	仁
向江好美	向
野引香里	野
水野浩志	水

カテゴリー	提唱者	前者	後者
			
			
	向		他人の視点を手に入れるときには、 <ul style="list-style-type: none"> ・単純に処理数が多い ・確認に時間がかかるので焦りやすい ・事前に言われていない視点到気づけないことが多い
	向		難しいのに言われてることがわからない 背景を共有してない人の話の文脈がわからなくて、 相手の要求や伝えたいことを、状況に即して理解できない
特徴 (努力で何とかなる分野)	仁	広角レンズ	単焦点レンズ
	仁	人間	天使
	仁	常時接続WiFi	電話回線モデム
	仁	温泉の源泉	銭湯のシャワー
	仁	マネージャー	タレント
	仁	イチロー	長嶋さん
	仁	笑わせるツッコミ芸人	笑われるいじられポケ芸人
	仁	「ちゃんと」「理解して」「空気を読んで」「人の気持ちを考えて」「決められたとおりに」	集中したときに圧倒的な成果を残したり、癒し系で愛されるキャラ
	仁	客観的に判断	自分の感覚に忠実
	仁	常にオン。手動でシャットダウン	意識してオン。自動でシャットダウン
	仁	長い文章を読める	長い文章を読めない
	仁	忘れ物、遅刻がほとんどない	忘れ物、遅刻アリ
	水		物分かりが悪いと言われる
	向	気が利く	気が利かない
	向		他人の視点を意識し続けるのは難しい
	向		ただ言えたいだけのことを「察しろ」みたいな態度を取られるのは、嫌
	向		<ul style="list-style-type: none"> ・人の視点に立ててないことと ・関心が向いてないことは忘れてることがある
	向		嫌われてるとか疎まれてるとかは敏感に察知する
	向		嫌われてることはわかるけど、なんで嫌われてるかがよくわからない 怒られてることはわかるけど、なんで怒られてるかわからない
	仁	悪意の大人	天然の子供
	仁	「悪意」とは、言い換えると「我慢のひと」	「天然」とは、言い換えると「我慢できないひと」
	仁	子供でいるといけないと思	子供でいる自分をダメだと思
仁	早く大人になろうと努力してきて、成ることができてしまった	大人になろうと努力したけど、なれなかった	
仁	子供である大人をダメだと思	子供である自分を責め、責められる	
仁	ひとの機嫌や顔色、空気を読むのが得意で	必死に読もうとするけれど読めない	
仁	がんばって何とかなってきた	がんばってもなんともならなかった	
仁	後者の言動が理解できない	前者の行動が理解できない	
仁	子供の気持ちを封じ込めてしまったから	子供でいることで今まで生きながらえてきたから	

前者・後者の特徴と判別法

提唱者	略称
心屋仁之助	仁
向江好美	向
野引香里	野
水野浩志	水

カテゴリー	提唱者	前者	後者
	仁	どちらかと言えば、きっちりの、左脳タイプ	どちらかと言えば、なんとなくゆっくりな、右脳タイプ
	仁	空気を読みすぎ	読んでみるが見当違い
	仁	怒る人	怒られるひと
	仁	怒りたいひと	怒られたいひと
	仁	後者を笑い	前者に笑われる 何を笑われているのかわからなくて バカにされたようで悲しくなる
	仁	わかってもらえない悲しみ	わかってもらえない悲しみと、わかってあげられない悲しみがある。
	仁	悪意のある前者	悪意無い後者
	仁	いつもケンカを売り	いつもケンカを売られる
	仁	ちゃんとしているつもりで、ちゃんとできる	ちゃんとしているつもりだけど、 前者から見るとちゃんとできていないので怒りを買う
	仁	前者である自覚がある	その自覚がない場合が多いので 「わたし、しっかり者だと思う」などと言う
	仁	自分の気持ちをストレートに表現しないので、後者に向かっては変化球(察しろ)を投げる。前者同士だと、変化球にも対応できるのだが。	前者が投げた変化球を受け取る能力がないためなかなか伝わらず、前者はさらにイライラする。後者は、ストレートしか投げられないし受け取れない。
	仁	「前者はできる人」という呪いに振り回されて「わたしなんか前者だというのはおこがましい」という思う。	「後者はできない人」という呪いに振り回されて+F11「後者でありたくない」と後者を否定する
	仁	冗談、ウイットに富んだ会話が好き 細かい理論やディテールが好き 前者は、常識的、思ったことをそのまま行動に移せる	
	仁	相手を傷つけないように直球ではなく、ゆるい変化球を、投げる生き物。技巧派。	
	仁	さまざまな例え「言い換え」が出来る。	
		野	比較的良好に気がつき何事もそつなくこなす。得意なことが多い。後者の世話を焼かざるをえない立場になりやすい。
野		数々の尻拭いさせられてきた 恩を仇で返されること多数 踏みにじられてきたこの気持ち	気づいていない
水			顔文字が多い 「私はできない」と開き直す
結果として	水	小さく小利口にまとまっている	アンバランスではあるが、その範疇を超える生き方を見せることで、彼らの人間としての枠を広げてやる。前者の人間的な成長のために、後者は欠かせない存在
	水	後者の保護者	前者の教育者
	水	具体的な結果や成果物を生み出しているのは、前者たち	前者無しでは、現実の社会を生きて行けない、か弱い存在
	水	前者に愛されながら、素直に、のびのびと生きていくことが、結果的に、前者の人間的な成長に貢献することになり、後者含めて、より社会に貢献出来る前者となって、結果的には、両者が幸せになる、と言う循環が生まれてくる。	
	水		前者に保護されていることに卑屈にならず、保護されていることに心から感謝し、前者に愛されながら、それでもこんな自分が、前者の成長の役に立っているんだ、と言う自負を持って、謙虚に生きていこう。
水		1. 何も出来ないことを浮かれて開き直って言い散らかすべからず。前者に嫌われるよ！ 2. 何も出来ないならば、素直に生きよう！ 3. 素直に生きるとは、ありがとうとごめんなさいを心から感じ、伝えること！ 4. これすら出来ないと言うな！これは訓練によって身に付けられる！ 5. 素直に生きると、あなたの才能や能力が開花するよ！ 6. 才能や能力が開花しなくても「周りから愛される人」になれるよ！	